

水野源三 と 八木重吉

三浦綾子が愛した詩人たちを読む読書会

水野さんは、私の信仰生活に大きな影響を及ぼす存在であった。(水野源三詩集『み国をめざして』序)



有難う

物が言えない私は 有難うのかわりにほほえむ
朝から何回もほほえむ 苦しいときも 悲しいときも
心から ほほえむ

水野源三 みずのげんぞう

1937 (昭和12) 年長野県生。9歳のとき赤痢の高熱による脳性麻痺で、首から下と言葉の自由を失う。50年受洗。55年頃から五十音表を使って瞬きで詩作を始める。75年榎本保郎牧師らの尽力で第一詩集『わが恵み汝に足れり』出版。以下全部で四冊の詩集が刊行される。84年47歳で召天。『水野源三精選詩集』(日本キリスト教団出版局)。

*『水野源三精選詩集』(日本キリスト教団出版局・森下辰衛選)の収録作品順に読みます。三浦綾子の序文や榎本保郎のあとがきなども読み味わいます。オリジナルの詩集(アシュラム・センター発行)をお持ちの方は、それでも大丈夫です。

八木重吉の詩を口ずさむと、なぜか私の心はひどく静かになったものだ。森閑と言ったほうがいいのかも知れない。それは平安にも似ていた。(『読みなおす一冊』「八木重吉詩集」)

花がふつてくると思ふ

花がふつてくると思ふ

花がふつてくるとおもふ

この てのひらにうけとらうとおもふ

八木重吉 やぎじゅうきち

1898 (明治31) ~ 1927 (昭和2) 年。東京府生。東京高等師範英語科卒。在学中の大正8年受洗。内村鑑三に傾倒。大正10年から兵庫県御影師範他で英語教師。同年8月第一詩集『秋の瞳』を出版。昭和2年結核のため29歳で召天。翌年第二詩集『貧しき信徒』刊行。『定本八木重吉詩集』(彌生書房)、『八木重吉全詩集1・2』(ちくま文庫)など。

*第二詩集『貧しき信徒』、第一詩集『秋の瞳』、詩稿・遺稿の順に読みます。各種詩集またはインターネットで読むことができる青空文庫をお使い下さい。



- ・数編を最初に朗読して、参加者で感想を語り合います。 / 講師 森下辰衛(三浦綾子読書会代表)
- ・毎月第3木曜日(3、7、11月変更あり) 10:00~11:15 / 20:00~21:15 (内容は午前、夜同じです)
- ・偶数月:水野源三 奇数月:八木重吉 *片方だけでも、時間帯もご都合に合わせて自由にお選びいただけます。

予定 8月18日源三 / 9月15日重吉 / 10月20日源三 / 11月24日重吉 / 12月15日源三 / 1月19日重吉

- ・オンライン ZOOM で開催 / 参加費:自由献金 *お申込みの方に ZOOM の URL や参加費の振込口座をお知らせします。

お問い合わせ・お申し込み shiokaripass@gmail.com (森下)